

令和 3（2021）年度 資源評価調査報告書

種名	サワラ	対象水域	太平洋中南部
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産 資源研究センター	協力機関名	千葉県水産総合研究センター、東京都島 しょ農林水産総合センター、神奈川県水 産技術センター、静岡県水産・海洋技術 研究所、愛知県水産試験場、三重県水産 研究所、高知県水産試験場、宮崎県水産 試験場

1. 調査の概要

- ・ 漁業・養殖業生産統計年報にはサワラ類として集計されている。サワラ類は太平洋中区での漁獲が多く、近年は増加傾向である。
- ・ 千葉県（1995～2020年）、東京都（1949～2020年）、神奈川県（2015～2020年）、静岡県（2001～2020年）、愛知県（2001～2020年）、三重県（2003～2020年）、高知県（2010～2020年）、宮城県（2020年）でサワラまたはサワラ類の漁獲量が集計されている。
- ・ 三重県では、漁獲量及び和具浦地区の一本釣りのCPUEにより、資源レベルと動向が評価されている。
- ・ 2019年より卵稚仔調査により卵の分布状況が調べられている。

2. 漁業の概要

- ・ 千葉県での漁法は主に定置、まき網、曳縄などである。
- ・ 東京都の漁獲量はサワラ類であり、水揚げの中心はカマスサワラである。
- ・ 静岡県の漁獲量はサワラ類であり、魚種組成は不明である。
- ・ 愛知県では、主に小型底びき網、刺網で漁獲されている。
- ・ 三重県では、鳥羽市で概ね県全体の8割が漁獲されていて、一本釣り（主に曳き縄釣り）と流し刺し網による漁獲がほぼ全てを占める。
- ・ 高知県では、主に大型定置網で漁獲されている。

3. 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：北海道南部以南の日本各地に分布している（中坊・土居内 2013）。東シナ海系群、瀬戸内海系群、太平洋北部との関係は不明である（笹木ほか 2021）。
- (2) 年齢・成長：東シナ海では寿命は6歳程度とされている（濱崎 1993）。瀬戸内海では、寿命は6～8歳で雌が長寿とされている（岸田ほか 1985）。1980年代に主に東シナ海中央部および韓国沿岸域で漁獲されたサンプルを用いて解析した報告では、成長には雌雄差があり、2歳以上において雌は雄に比べ成長が速い（濱崎 1993）。
- (3) 成熟・産卵：瀬戸内海では満1歳で約半数が成熟し、満2歳ではほぼすべての個体が成熟する（竹森 2006）。東シナ海系群では雌雄ともに1歳魚の一部が成熟を開始し、2歳魚以上では大部分が成熟する（田邊ほか 2021）。三重県では満1歳で雌雄ともに成熟するこ

とが確認され、成熟魚は4-7月に出現している（笹木・岡田 2018）。

(4) 食性：生活史を通じて魚食生が非常に強い（Shoji et al. 1997）。発育初期にはカタクチイワシ等の稚魚を捕食し（Shoji et al. 1997）、成長するとカタクチイワシ、イカナゴ等魚類を主食とする。

4. 資源状態

- ・太平洋中区での漁獲量が増加傾向である。
- ・三重県では、2018年の鳥羽磯部漁協における漁獲量から資源水準は「高位」であり、資源動向は和具浦地区の一本釣りのCPUEから「減少」と判断している。
- ・生息域を網羅した長期間の漁獲量情報がないことから、太平洋中南部全体の資源水準や動向の推測は現状では困難である。

5. 資源回復などに関するコメント

- ・重要な浮魚類として継続的なモニタリングが必要である。

6. 引用文献

- 渡井幹雄・安田十也・宇田川美穂・渡邊千夏子・木下順二・井元順一 (2021) 2019年～2021年春季の我が国太平洋岸における沿岸性魚種9種の仔魚の分布状況. 令和3年度中央ブロック卵・稚仔、プランクトン調査研究担当者協議会研究報告, 41, 204-226
- 中坊徹次・土居内龍 (2013) サバ科. 中坊徹次(編), pp.1648-1654. 日本産魚類検索全種の同定 第三版, 東海大学出版会, 秦野.
- 笹木大地・岡田誠・金岩稔 (2021) 2019年度三重県におけるサワラの資源評価. 三重水研報, 27, 4-11
- 濱崎清一 (1993) 東シナ海・黄海に分布するサワラの年齢と成長. 西海区水研報, 71, 101-110.
- 岸田達・上田和夫・高尾亀次 (1985) 瀬戸内海中西部におけるサワラの年齢と成長. 日水誌, 51(4), 529-537.
- 竹森弘征 (2006) 瀬戸内海東部海域で漁獲されたサワラの成長と成熟. 香川水試研報, 7, 1-11.
- 田邊智唯・高橋素光・依田真里 (2021) 令和3(2021)年度サワラ東シナ海系群の資源評価.
- 笹木大地・岡田誠・津本欣吾 (2018) 三重県におけるサワラの年齢と成長. 黒潮の資源海洋研究, 19, 55-58.
- Shoji, J., T. Kishida and M. Tanaka (1997) Piscivorous habits of Spanish Mackerel larvae in the Seto Inland Sea. Fish. Sci., 63, 388-392.

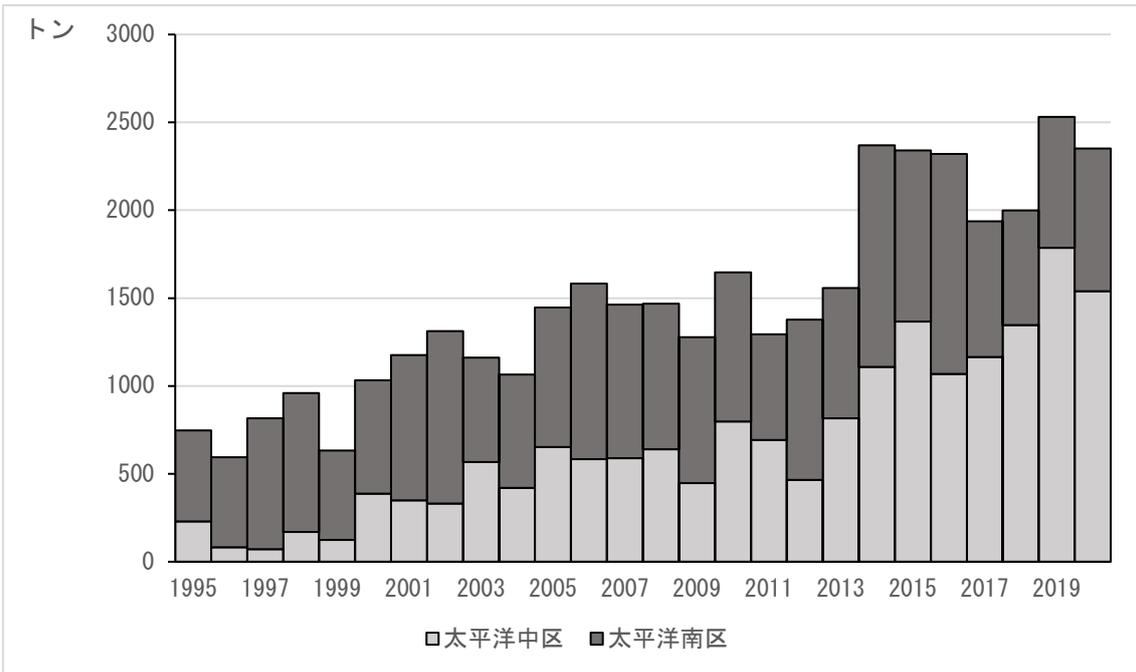


図1. 太平洋中区・南区におけるサワラ類漁獲量 (トン)

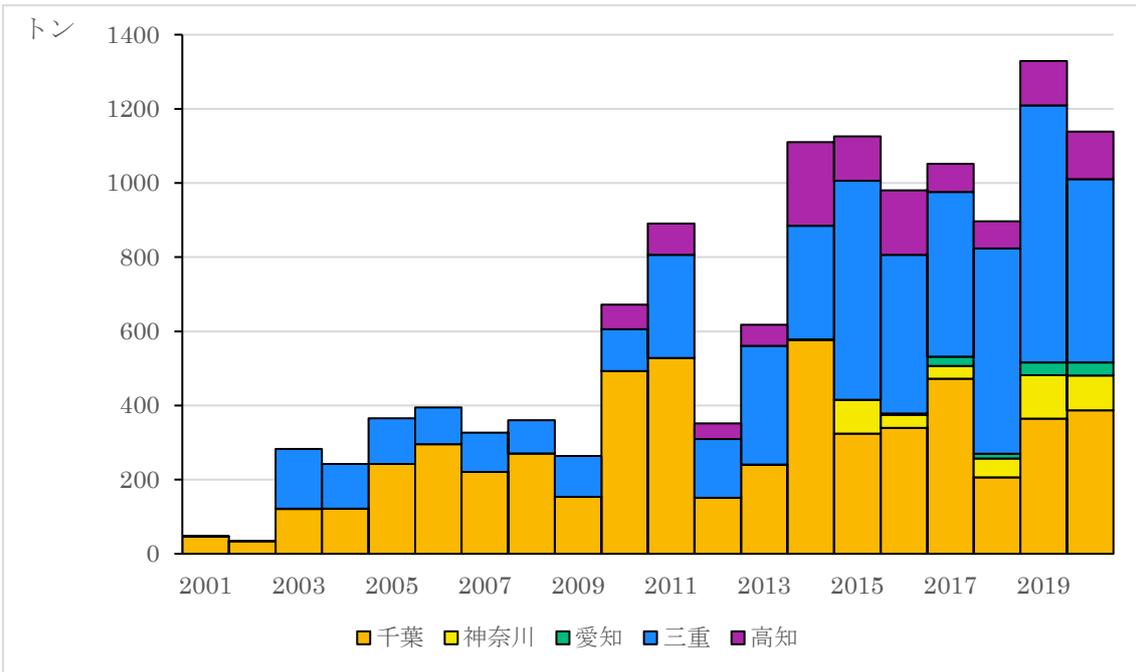
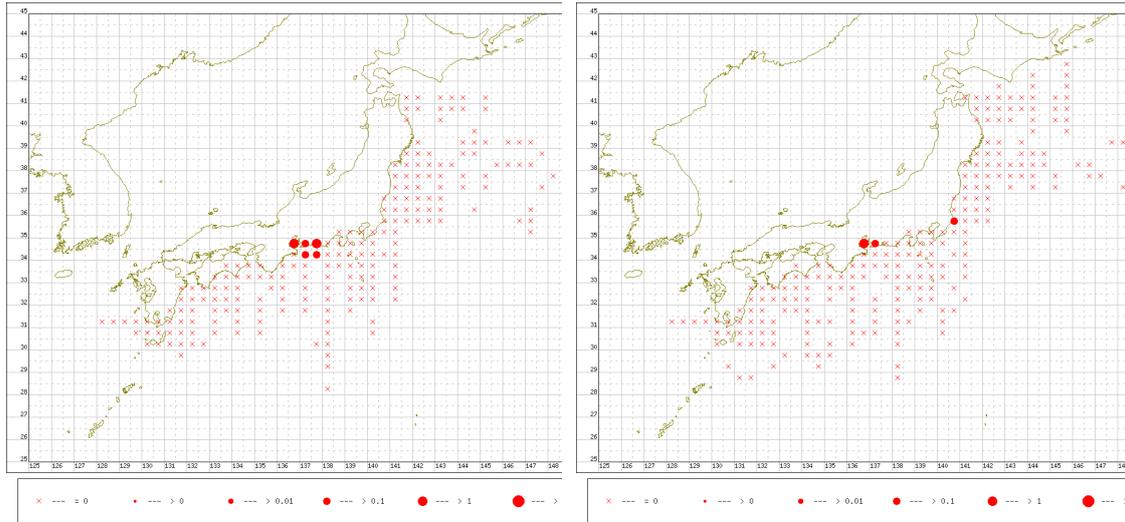
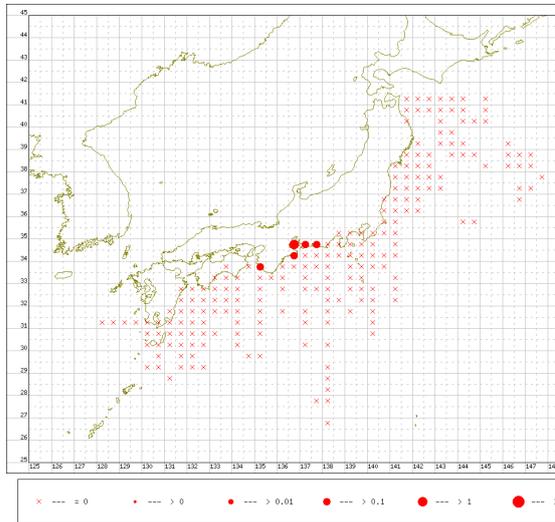


図2. 千葉県 (2001~2020年)、神奈川県 (2015~2020年)、愛知県 (2001~2020年)、三重県 (2003~2020年)、高知県 (2010~2020年) の主要港のサワラ漁獲量 (トン)



2019年サワラ卵

2020年サワラ卵



2021年サワラ卵

図3. 2019～2021年の太平洋岸におけるサワラ卵の年別分布状況

表1. 各県の漁獲量の年変化

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
千葉県	47	34	121	122	242	296	221	270	154	493
神奈川県										
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三重県			161	121	124	99	105	90	111	113
高知県										66
合計	47	34	282	243	366	394	326	361	264	672
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
千葉県	528	151	240	577	324	340	472	206	365	387
神奈川県					91	36	35	51	117	93
愛知県	0	0	1	1	0	3	25	13	35	36
三重県	278	159	320	307	591	428	444	554	693	494
高知県	85	42	57	225	120	174	76	73	120	128
合計	891	352	618	1,110	1,126	980	1,052	897	1,329	1,138